

永明延寿と『宗鏡録』の研究



[永明延寿と『宗鏡録』の研究 下载链接1](#)

著者:柳幹康

出版者:法藏館

出版时间:2015-3-10

装帧:精装

isbn:9784831873897

中国仏教を「一心」という概念によって統合化を図り、その思想を『宗鏡録』100巻を著わした永明延寿の全体像を解明。中国仏教史に新たな息吹を伝える迫真の論考！

作者介绍:

目録: ジャンル
書目検索
おすすめの本
新刊 (3ヶ月+)
▼ 辞典・事典・語学
辞典・事典(専門)
辞典・事典(入門)
語学
▼ 年表・索引・目録
経典・聖典(学術的)
ブツダ・釈尊
▼ 哲学・思想
▼ 各地域仏教
▼ 日本仏教
寺院向実用
▼ 入門・お経・実用
民族・信仰
▼ 歴史・資料
文学・随筆
美術
童話・絵本・マンガ
▼ マルチメディア
仏教関係雑誌
詳細検索を行う場合は、このパネル上部の『書目検索』タブをクリックして下さい
トップページ | ご利用案内 | 掲載者名簿 | リンク集 | メールサービス |
お問い合わせ
書誌詳細

永明延寿と『宗鏡録』の研究 一心による中国仏教の再編 カートに入れる
柳 幹康著
A5判 500頁 2015.02 978-4-8318-7389-7 法蔵館 税込7560円
分類: 各地域仏教>中国・朝鮮

中国仏教を「一心」という概念によって統合化を図り、その思想を『宗鏡録』100巻を著わした永明延寿の全体像を解明。中国仏教史に新たな息吹を伝える迫真の論考！

目次:
序論
第一章 人と著作
第一節 延寿の生涯
第二節 延寿の著作と思想
一 『宗鏡録』
二 『唯心訣』
三 『註心賦』
四 『万善同帰集』
五 『観心玄枢』
六 『受菩薩戒法』
七 著作に通底する一心の思想
第三節 結論
第二章 隋唐の仏教解釈論と延寿
第一節 隋唐の三宗 教判の展開
一 天台の「五時八教」

- 二 慈恩の「三時八宗」
- 三 賢首の「五教十宗」
- 第二節 中唐の宗密 教判の継承と拡張
 - 一 教判の継承と展開
 - 二 判釈対象の拡張
- 第三節 五代の延寿 教判の解体と新たな仏教観の提示
 - 一 宗密の仏教解釈論の換骨奪胎
 - 二 教判の回収
 - 三 一切を映す宗鏡
 - 四 延寿の論拠
- 第四節 結論
- 第三章 唐代禅の修証論と延寿
 - 第一節 神会による「頓悟」の宣揚 修行による悟りからありのままの悟りへ
 - 第二節 馬祖による「頓悟」の徹底 ありのままに悟りによる修行の棄却
 - 第三節 宗密の「頓悟漸修」論 馬祖禅批判と修行の再評価
 - 一 馬祖批判
 - 二 修密の修証論
 - 三 実践の体系
 - 第四節 延寿の「頓悟頓修」論 悟りと修行の新たな接合
 - 一 修密の修証論の換骨奪胎
 - 二 修行の再定義
 - 三 馬祖禅の再評価
 - 四 修証論の体系化
 - 五 宗鏡による仏教の一元化
- 第五節 結論
- 第四章 『宗鏡録』と宋代仏教
 - 第一節 仏説にならぶ『宗鏡録』
 - 一 再評価と開板
 - 二 撮要本の作成
 - 三 『宗鏡録』の入蔵
 - 第二節 『宗鏡録』からの仏教解釈論の受容
 - 一 禅僧による仏説の開板
 - 二 法輪を転じる禅僧
 - 三 仏説流通の意義
 - 第三節 『宗鏡録』からの修証論の受容
 - 一 圓悟克勤の修証論 漸修と頓修
 - 第四節 『宗鏡録』と宋代禅宗
 - 一 「即心是仏」による禅宗の思想的統一
 - 二 『四分律』と『梵網経』による受戒の規範化
 - 三 仏教聖典要文集の編纂
 - 第五節 結論
- 第五章 後代における延寿像
 - 第一節 蓮宗祖師としての延寿と「禅浄一致」
 - 一 宋・・・蓮宗祖師像の形成
 - 二 元・・・方便として禅と浄土を併せ説く延寿
 - 三 明清・・・「禅浄一致」者としての延寿
 - 第二節 仏教再編者としての延寿と「教禅一致」
 - 一 宋・・・心宗による三宗の調停者
 - 二 元・・・教と禅の調停者
 - 三 明・・・「教禅一致」を含む仏教全体の再編者
 - 四 清・・・震旦第一の導師
 - 第三節 結論
- 結論
- 附録 『永明智覚禅師方丈実録』翻刻テキストと訳注

参考文献
初出一覧
あとがき
索引

..... ([收起](#))

[永明延寿と『宗鏡録』の研究_ダウンロード1](#)

标签

佛教

佛教史

禪宗

永明延壽

思想史

宗鏡録

禅宗

日本

评论

好书！若能翻译就好了。

[永明延寿と『宗鏡録』の研究_ダウンロード1](#)

书评

[永明延寿と『宗鏡録』の研究_ダウンロード1](#)